

「政策の目標」	政策目標 5－3：関税等の適正な賦課及び徴収、社会悪物品等の密輸阻止並びに税関手続における利用者の利便性の向上	
	(評価書 328 頁)	
評価基準ごとの審査		評価の判断理由等
1 「政策の目標」の達成度		
A 達成に向けて相当の進展があった。		
業績指標	目標値	実績値
事前教示制度の運用状況（事前教示に一定期間内で回答した割合）		
文書	99.9%	99.9%
処理日数	15 日	13.9 日
口頭	99.9%	99.4%
不正葉物の水際押収量の割合（過去 5 年間）	向上 (77.3%) (16~20 年)	67.3% (17~21 年)
事前選定による検査指数	200	168
大型 X 線検査装置による検査指数	115	96
特例輸入申告制度の利用状況（特例輸入者数）	75 者	73 者
特定輸出申告制度の利用状況（特定輸出者数）	220 者	234 者
特定保税承認制度の利用状況（特定保税承認者数）	60 者	73 者
認定通関業者制度の利用状況（認定通関業者数）	12 者	21 者
特定保税運送制度の利用状況（特定保税運送者数）	5 者	1 者
輸出入通関における利用者満足度		
輸出入者 通関業者	30.0% 40.0%	34.4% 38.7%
NACCS の利用状況（システム処理率）	98%	96.8%
NACCS の運用状況（システム稼働率）	99.99%	100%
税関ホームページへのアクセス状況（訪問者数）	1,680,000 者	1,845,519 者
輸出入通関制度の認知度		
事前教示制度	70.0%	71.7%
NACCS を利用した他法令手続	70.0%	64.7%
納期限延長制度	80.0%	76.7%
特例輸入申告制度	80.0%	80.0%
特定輸出申告制度	70.0%	81.4%
執務時間外における通関	90.0%	81.3%
密輸取締り活動に関する認知度	80.0%	80.4%
税関相談制度の運用状況（税関相談についての利用者満足度）	60.0%	60.0%
カスタムスアンサー（インターネット版）利用件数	178,000 件	172,410 件
2 事務運営のプロセスの適切性、有効性、効率性		
適切であった。 有効であった。 効率的であった。		
		(事務運営プロセスに係る評価の理由等) (適切性)
		適正かつ円滑な国際物流の実現や利用者の利便性向上を図るために、税関手続の改善、積極的な情報提供等を適時適切に実施するとともに、各種 X 線検査装置を活用するなど効果的な社会悪物品の水際取締りに努めた。
		(有効性)
		① AEO 制度のメリット等の周知に努め、同制度の利用者数を増加させた。 ② Air-NACCS を更改、Sea-NACCS と統合し、輸出入・港湾関連情報処

	<p>理システム（NACCS）として一つのシステムにすることによって運用コストを低減するとともに、航空貨物に係るシステム利用料金について約3割の引き下げを実現した。</p> <p>(効率性)</p> <p>税関手続の改善のほか、税関システムを更改し関係省庁のシステムと一体的運営を行うことによって、効率性の向上に努めた。また、事前情報を活用する等、効率的な水際取締りに努めた。</p>
3 結果の分析の的確性	<p>おおむね的確に行われている。</p>
4 当該政策や、政策評価システムの運用の改善への提言	<p>政策について有益な提言がなされている。</p> <p>(結果の分析の的確性に係る評価の理由等)</p> <p>税関手続や水際取締り及び情報提供について多くの業績指標を設定するとともに、アンケート調査も実施し、各指標の実績について的確に分析した上で、未達成の目標については、原因について明記している。</p> <p>(今後の提言等)</p> <p>(政策の改善)</p> <p>AEO制度の利用拡大及び的確な運用並びに各種税関手続等の利用者満足度の更なる向上を図る。また、事前情報等を活用したより効率的な取締りに努める。</p>
講評 (財務省の政策評価の在り方に関する懇談会)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンテナ物流の合理化・効率化の観点等から、国土交通省の港湾関係のウェブサイト型情報システム「コンテナ物流情報サービス（Colins）」とNACCSとのシステム的連携を検討していただきたい。 ○ 業績指標17個の中で目標を達成したものが10個であること。利用者の利便性の向上に関しても、利用者満足度が40%以下と低いことから、「B 達成に向けて進展があった。」とすべきである。